

【海外の教育事情】

## 世界に開かれた高等教育を支援する EU

- エラスムス・プラスでヨーロッパ留学 -

The EU Supporting Higher Education Open to the World:  
Study in Europe with Erasmus+

駐日欧州連合代表部広報部長 フリオ・アリアス

Julio ARIAS

(Head of Press, Public and Cultural Affairs, Delegation of the EU to Japan)

キーワード：欧州留学、欧州連合、エラスムス・プラス、Erasmus、EU、留学支援

### 1. 高等教育における EU の役割

欧州連合 (EU) の教育政策は主に欧州委員会の教育・文化総局 (Directorate-General for Education and Culture=DG EAC) が主導しています。DG EAC は EU の教育、文化、青少年、言語、スポーツの分野を担当する行政部門です。

DG EAC は、エラスムス・プラス (Erasmus+) のようなさまざまな企画やプログラムでこの政策分野を支援しています。エラスムス・プラスはヨーロッパにおいて教育や訓練の質を高め、年齢と関係なく人々に学ぶ機会や選択肢を与えることを目的とした EU のプログラムです。

EU 加盟国は、それぞれ自国の教育や研修制度に関する責任を有しています。したがって、DG EAC の主な役割は、ヨーロッパ全体の教育の質を高めるために加盟国同士が相互に学び協力しあう環境をつくる政策協力にあります。

### 2. ボローニャ・プロセスとヨーロッパ高等教育圏

EU がモビリティ (留学) 支援や単位認定、また域内の高等教育の国際化に取り組む基礎となったのは、ボローニャ・プロセスへの積極的な参加・支援と欧州高等教育圏 (European Higher Education Area) の促進です。

ヨーロッパでは、国ごとに異なる教育や研修の制度により、ヨーロッパ市民がある国で取得した資格を利用して他の国で仕事や学校に応募することが難しい場合があります。

ボローニャ宣言 (1999 年) で始まり、閣僚会議で 3 年ごとに評価されるボローニャ・プロセスは、

ヨーロッパの高等教育のためのより同質で、互換性と一貫性のある制度を導入することを目指しています。ボローニャ・プロセスは欧州委員会を含む、公的機関、大学、教員、学生、利害関係者団体、雇用者、国際機関などによる共同の取り組みです。

### 3. 進化してきた EU の留学支援プログラム

長年にわたって取り組まれてきた EU の教育プログラムは、過去 25 年間にヨーロッパの高等教育の現状を変えるのに役立ったと言っても過言ではありません。

#### i.) エラスムス・プログラム (Erasmus Programme)

1987 年に立ち上がったエラスムス・プログラムは、ヨーロッパにおける高等教育の国際化の原動力であり、何百万人もの学生のためにモビリティ（留学）を当たり前ものになりました。同プログラムは、EU の 28 加盟国、候補国および EFTA/EEA 加盟国を含む計 33 カ国を対象としています。

エラスムス・プログラムの下、学生は他の国の大学で 3~12 カ月を過ごすことができます。提携大学間のエラスムス憲章に基づき、受け入れ校では授業料は徴収されません。また、受け入れ校で取得した単位が母校で認定されます。

同プログラムは、2017 年に発足 30 周年を迎え、EU の大きな成功事例の一つと考えられています。300 万人以上の学生がこの制度を利用し、33 カ国 4,000 以上の高等教育機関が参加しています。

また、高等教育制度の改革と国際化の重要な触媒となっています。大学が業務を比較できるようにすることで、エラスムスはボローニャ・プロセスにつながる考えを形作りました。これにより職業訓練から学校教育まで、他の教育分野における協力の強化につながりました。

具体的には、各国間の学生の移動は、大学の単位が移行可能となるよう、欧州各国政府間の協力を奨励しました。これはヨーロッパ各地の機関間のより良い理解と相互信頼に貢献しました。

これら全てが、ヨーロッパとその域外において質、透明性、認知に大きく貢献しました。

#### ii) エラスムス・ムンドゥス (Erasmus Mundus)

エラスムス・プログラムに続き、国際的なアウトリーチを目指したプログラムが登場しました。2004 年から 2013 年まで実施された、エラスムス・ムンドゥスは、ヨーロッパと他の大陸の高等教育機関との間の優れた修士・博士課程のジョイントディグリーの発展に資金を提供しました。

エラスムス・ムンドゥスはヨーロッパの内外から一流大学を集め、共同カリキュラムを開発し、それぞれが提供できる最高のものに基づいて専門分野とコースを組み合わせることを可能にしました。

エラスムス・ムンドゥスが実施された 10 年間に、非常に多様な学問領域に奨学金を提供する 150 以上の修士課程ジョイントディグリーと 40 の博士課程ジョイントディグリーのコースが新設されまし

た。これらの共同プログラムには 930 以上の高等教育機関が参加しました。そのうち 720 は EU 域内から、残りは EU 域外 50 カ国以上から参加があり、もちろん日本の高等教育機関も多数参加しました。

### iii) エラスムス・プラス (Erasmus+)

2014 年から 2020 年にかけて実施されるエラスムス・プラスは、国際的なモビリティと協力への支援をさらに推し進めます。エラスムス・プラスは既存の EU の青少年、研修、教育のためのプログラムをまとめたものです。

エラスムス・プラスの下、ヨーロッパ及びそれ以外の国々の出身の大学生やスタッフは、EU から助成金で海外留学・研修に参加することができます。「International Credit Mobility (ICM)」(国際単位移動制度) と呼ばれるヨーロッパとパートナー諸国の大学との間で結ばれた協定に基づいた、エラスムス形式の短期留学 (3~12 カ月) が国際的に開放されています。

また、エラスムス・ムンドゥス形式の修士課程ジョイントディグリー制度が「Erasmus Mundus Joint Master Degree (EMJMD)」という名称でエラスムス・プラスの下で継続しています。2020 年までに 350 以上のジョイントディグリーコースが新設される予定です。

## 4. 日本の大学と大学生の参加

エラスムス・プラスは、日本の大学と大学生に、ヨーロッパと連携しヨーロッパに留学する多くの機会を提供します。これらの機会を提供する主要な 2 つの仕組みが、前述の EMJMD (エラスムス・ムンドゥス修士課程ジョイントディグリー) と ICM (国際単位移動制度) です。

### -EMJMD (エラスムス・ムンドゥス修士課程ジョイントディグリー)

EMJMD 制度は、基本的に、前述のエラスムス・ムンドゥス (2004 年~2013 年) の一環として行われた制度の継続です。日本の大学は、複数のヨーロッパの大学と共同で修士課程ジョイントディグリーのプログラムを作成して実行することができます。

これらのプログラムは世界中の学生を対象としているので、もちろん日本人学生も参加できます。EMJMD は魅力的な制度で、参加する学生は欧州 2 カ国以上で学びつつ、最高 2 万 5,000 ユーロの奨学金を受けることが可能です。

コースのリスト<sup>1</sup>はオンラインで入手できます。学生は興味のあるコースに直接応募することとなります。出願締め切りはコースにより異なりますが、一般的に募集期間は 12 月中旬から 1 月下旬で、ほとんどのプログラムは翌年の秋に開始されます。

エラスムス・プラスに関する情報は、Erasmus+ Student and Alumni Association の公式ウェブサ

<sup>1</sup> [https://eacea.ec.europa.eu/erasmus-plus/library/emjmd-catalogue\\_en](https://eacea.ec.europa.eu/erasmus-plus/library/emjmd-catalogue_en)

イト<sup>2</sup>および Erasmus+の公式 Facebook ページ<sup>3</sup>にも掲載されています。日本の卒業生の体験談<sup>4</sup>は、このようなプログラムで学ぶことがキャリア的にも個人的にも有益であることを示しています。

#### -ICM (国際単位移動制度)

日本の大学で学士・修士・博士課程に在籍している日本人学生は、欧州にあるパートナー校で3月から12カ月間学ぶ短期留学プログラムに参加することができます。学生は、留学先の大学(ホスト校)で単位を取得し、追加費用を払うことなく、母校でその単位を認定してもらうことができます。

エラスムス・プラスの既存のパートナー校については、母校の国際交流室にお問い合わせ下さい。

## 5. 欧州留学フェア

欧州留学フェア<sup>5</sup>は、毎年5月に東京と関西で開催され、おおよそ20以上のEU加盟国から60以上の高等教育機関が出展します。ヨーロッパの大学の代表者と会い、コース、プログラムおよび奨学金について直接話が聞けるユニークな機会です。来年はぜひ来てください!

## 6. 役に立つリンク

欧州委員会教育・文化総局 (DG EAC) : [http://ec.europa.eu/dgs/education\\_culture/](http://ec.europa.eu/dgs/education_culture/)

エラスムス・プラス公式ホームページ: [http://ec.europa.eu/programmes/erasmus-plus/node\\_en](http://ec.europa.eu/programmes/erasmus-plus/node_en)

International Credit Mobility: [http://ec.europa.eu/programmes/erasmus-plus/opportunities-for-individuals/students/studying-abroad\\_en](http://ec.europa.eu/programmes/erasmus-plus/opportunities-for-individuals/students/studying-abroad_en)

修士課程ジョイントディグリー (EMJMD) のリスト: [https://eacea.ec.europa.eu/erasmus-plus/library/emjmd-catalogue\\_en](https://eacea.ec.europa.eu/erasmus-plus/library/emjmd-catalogue_en)

エラスムス・プラス Facebook: <https://www.facebook.com/EUErasmusPlusProgramme/>

EU 留学 Facebook (日本語): <https://www.facebook.com/EURyugaku>

欧州留学フェア (日本語): [www.ehef-japan.org](http://www.ehef-japan.org)

<sup>2</sup> <http://www.esaa-eu.org/about/>

<sup>3</sup> <https://www.facebook.com/EUErasmusPlusProgramme>

<sup>4</sup> [https://eeas.europa.eu/delegations/japan/18702/node/18702\\_ja](https://eeas.europa.eu/delegations/japan/18702/node/18702_ja)

<sup>5</sup> <http://www.ehef-japan.org/>